

国語科 授業デザイン

日 時：平 25 年 12 月 6 日（金）第 3 校時（10 時 40 分～11 時 30 分）
学 年： 中学部 2 年
授 業 場 所： 本校 中学部 2 年教室

1. 単元（題材）名

モアイは語る—地球の未来

2. 単元（題材）の目標

- ・イースター島での出来事をもとに、筆者が主張していることを読み取り、述べる。
- ・根拠となる事実を確かめながら、文章の構成や表現の仕方をとらえる。
- ・事実を示しながら、自分の意見を書く。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 4 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	<ul style="list-style-type: none">・音読。・四つの疑問に線を引く。・疑問①②の答えを探し、教科書に線を引く。・何を根拠にそう書いたのか、箇条書きで書く。	IWB, TPC, デジタル教科書
第 2 時	<ul style="list-style-type: none">・疑問③④の答えを探す。・モアイを作った文明はようになったのか、教科書に線を引く。・モアイが作られなくなった原因は何か、教科書に線を引く。・森が消滅してから文明が崩壊するまでの経緯を模式図で表す。どのような事実に基づいているかも書く。	IWB, TPC デジタル教科書, 教材提示装置, 学習支援システム
第 3 時	<ul style="list-style-type: none">・模式図の続きをする。・模式図を発表する。・筆者の主張について確認する。・筆者の警告を聞いて、私たちの資源の使い方はどうであるか。自分はどうしようと思ったか、意見文を書く。	IWB, TPC, 教材提示装置, 学習支援システム
第 4 時	<ul style="list-style-type: none">・意見文の続きを書く。・意見文を発表する。・互いの意見文について、評価をし合う。・コメントを聞き、自分の改善点を書く。（本時 4 / 4）	IWB, TPC, 学習支援システム

4. 本時の目標

- (1) 事実を示しながら、自分の意見を書くこと。
- (2) 意見文を交流し、評価し合うこと。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・生徒〔・個別学習 ・一斉学習 ・協働学習〕 ・指導者 〔・課題提示 ・交流〕
活用するコンテンツ	
活用する機器	・IWB ・TPC ・教材提示装置

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入 10 分	個別学習 ① 意見文の続きを書く。	IWB(指導者), TPC(生徒)	【IWB, TPC】 構成のパターン ①一文で書く。 ②文章で書く。
展 開 15 分	一斉学習 ① 意見文を発表する。	IWB(指導者), TPC(生徒)	【IWB, TPC, 学習支援システム】 ・各自の意見文を順番にIWB に出す。 ・話す速度や音量, 言葉の調 子や間の取り方などに注意 して, わかりやすい発表とな るよう支援する。
ま と め 25 分	個別学習→一斉学習→個別学習 ①互いの意見文について, 評価をし合う。 ②コメントを聞いて, 自分の改善点を書 く。	IWB(指導者), TPC(生徒)	【IWB, TPC, 学習支援システム】 ・相手が述べている意見に説 得力があるかどうか, コメント する。 ・意見そのものの是非を問う ものではない。

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) 事実となる事柄を示しながら, 文章を書くことができたか。
- (2) 意見文を読み, 評価できたか。

8. 準備物

IWB, TPC, 学習支援システム, 付箋